

件 名

令和7年度埼玉県立伊奈学園中学校において使用する教科用図書の採択について

提案理由

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第2項及び第3項並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定に基づき、令和7年度に埼玉県立伊奈学園中学校において使用する教科用図書を採択したいので協議願います。

概 要

文部科学大臣の検定を経た中学校用教科用図書10教科16種目71種類（次ページ表参照）の中から、各教科の種目ごとに1種類を採択する。

（義務教育指導課）

教科	種目	種類数
国語	国語	4種
	書写	4種
社会	社会（地理的分野）	4種
	社会（歴史的分野）	9種
	社会（公民的分野）	6種
	地図	2種
数学	数学	7種
理科	理科	5種
音楽	音楽（一般）	2種
	音楽（器楽合奏）	2種
美術	美術	3種
保健体育	保健体育	4種
技術・家庭	技術・家庭（技術分野）	3種
	技術・家庭（家庭分野）	3種
外国語	英語	6種
特別の教科道徳	道徳	7種
10教科	16種	71種

県立伊奈学園中学校教科用図書採択について

資料1

教科	種目	現行	発行者一覧								
			東書	三省堂	教出	光村					
国語	国語	光村	東書	三省堂	教出	光村					
	書写	光村	東書	三省堂	教出	光村					
社会	社会(地理的分野)	帝国	東書	教出	帝国	日文					
	社会(歴史的分野)	育鵬社	東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書
	社会(公民的分野)	育鵬社	東書	教出	帝国	日文	自由社	育鵬社			
	地図	帝国	東書	帝国							
数学	数学	数研	東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文		
理科	理科	東書	東書	大日本	学図	教出	啓林館				
音楽	音楽(一般)	教芸	教出	教芸							
	音楽(器楽合奏)	教芸	教出	教芸							
美術	美術	日文	開隆堂	光村	日文						
保健体育	保健体育	大修館	東書	大日本	大修館	学研					
技術・家庭	技術・家庭(技術分野)	開隆堂	東書	教図	開隆堂						
	技術・家庭(家庭分野)	開隆堂	東書	教図	開隆堂						
外国語	英語	開隆堂	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館			
特別の教科道徳	道徳	あか図	東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科		

中学校用教科書発行者一覧

発行者番号	略称	発行者	郵便番号	住所	電話番号	発行教科書の種別
2	東書	東京書籍株式会社	114-8524	東京都北区堀船2の17の1	03(5390)7200(代)	小中高
4	大日本	大日本図書株式会社	112-0012	東京都文京区大塚3の11の6	03(5940)8670(代)	小中
6	教図	教育図書株式会社	101-0052	東京都千代田区神田小川町3の3の2	03(3233)9100(代)	中高
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	113-8608	東京都文京区向丘1の13の1	03(5684)6111(代)	小中高
11	学図	学校図書株式会社	101-0063	東京都千代田区神田淡路町2の23の1	03(6285)2916	小中
15	三省堂	株式会社三省堂	102-8371	東京都千代田区麹町5の7の2	03(3230)9411	小中高
17	教出	教育出版株式会社	135-0063	東京都江東区有明3の4の10TFTビル西館	03(5579)6278(代)	小中高
27	教芸	株式会社教育芸術社	171-0051	東京都豊島区长崎1の12の14	03(3957)1175(代)	小中高
38	光村	光村図書出版株式会社	141-8675	東京都品川区上大崎2の19の9	03(3493)2111(代)	小中高
46	帝国	株式会社帝国書院	101-0051	東京都千代田区神田神保町3の29	03(3262)4795(代)	小中高
50	大修館	株式会社大修館書店	113-8541	東京都文京区湯島2の1の1	03(3868)2211(大代)	小中高
61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館	543-0052 113-0023	大阪府大阪市天王寺区大道4の3の25 (支)東京都文京区向丘2の3の10	06(6779)1531(大代) 03(3814)2151(代)	小中高
81	山川	株式会社山川出版社	101-0047	東京都千代田区内神田1の13の13	03(3293)8131(代)	中高
104	数研	数研出版株式会社	101-0052	東京都千代田区神田小川町2の3の3	03(5283)6001(代)	中高
116	日文	日本文教出版株式会社	558-0041 165-0026	大阪府大阪市住吉区南住吉4の7の5 (支)東京都中野区新井1の2の16	06(6692)1261(代) 03(3389)4611(代)	小中高
224	学研	株式会社Gakken	141-8416	東京都品川区西五反田2の11の8	03(6431)1151(代)	小中
225	自由社	株式会社自由社	112-0005	東京都文京区水道2の6の3	03(5981)9170(代)	中
227	育鵬社	株式会社育鵬社	105-0022	東京都港区海岸1の2の20汐留ビルディング19F	03(5843)8395	中
229	学び舎	株式会社学び舎	190-0022	東京都立川市錦町3の1の3の605	042(512)5960	中
232	あか図	あかつき教育図書株式会社	176-0021	東京都練馬区貫井4の1の11	03(3825)9188	中
233	日科	日本教科書株式会社	150-0011	東京都渋谷区東1の11の3	03(3518)6345	中
236	令書	令和書籍株式会社	108-0014	東京都港区芝5の13の16	03(6435)1358	中



令和 6 年 4 月 17 日

埼玉県教育委員会 様

埼玉県教科用図書選定審議会
会長 柿沼光夫



教科用図書採択に関する答申（一次）

令和 6 年 4 月 4 日開催の教育委員会で決定された諮問事項について、下記のとおり答申いたします。

【諮問事項】

- 1 県教育委員会が市町村教育委員会等の教科用図書の採択について行う指導、助言又は援助の基本的考え方について
- 2 県立義務教育諸学校において使用する教科用図書採択の基本的考え方について

記

1 県教育委員会が市町村教育委員会等の教科用図書の採択について行う指導、助言又は援助の基本的考え方について

諮問の際に提示のあった別紙「県教育委員会が市町村教育委員会等の教科用図書の採択について行う指導、助言又は援助の基本的考え方」を適当であると認めるとともに、以下の点について特に留意すること。

- (1) 「採択基準」や「参考資料」の作成に当たっては、引き続き、市町村教育委員会等の一般的な指針となるように配慮すること。
- (2) 「静ひつな環境の確保」と「会議の公開・議事録の公表」は両立できることであり、今後も引き続き、ガイドラインを踏まえ、より一層教科用図書採択の公正性・透明性を高めること。
- (3) 特別支援学校及び特別支援学級の教科用図書の採択については、児童生徒にとって教育上効果的なものとなるよう、児童生徒の障害の状態や教育的ニーズ等を考慮すること。

2 県立義務教育諸学校において使用する教科用図書採択の基本的考え方について

諮問の際に提示のあった別紙「県立義務教育諸学校において使用する教科用図書採択の基本的考え方」を適当であると認めるとともに、以下の点について特に留意すること。

- (1) 義務教育諸学校の教科用図書の採択については、児童生徒にとって教育上効果的なものとなるよう、学校の特色や児童生徒の実態に即したものにすること。
- (2) 県立特別支援学校の教科用図書の採択については、引き続き、児童生徒の障害の状態や教育的ニーズ等を考慮すること。

県教育委員会が市町村教育委員会等の教科用図書の採択について 行う指導、助言又は援助の基本的考え方

市町村教育委員会等の行う教科用図書の採択については、教育基本法、学校教育法、小学校・中学校・特別支援学校学習指導要領を踏まえ、関係法令や通知等に基づく公正かつ適正な採択が行われるよう、以下の考え方に基づき指導、助言又は援助を行う。

1 全般的事項

- (1) 教科用図書の十分な調査研究を行い、関係者自らの見識や判断等を基に慎重かつ十分な協議を重ね、採択権者がその判断と責任に基づき、主体的に採択することが重要であること。
- (2) 協議に当たっては、児童生徒にとっての教育上の効果及び地域や学校、児童生徒の実態を考慮することが重要であること。特に、特別支援学校及び特別支援学級については、児童生徒の障害の状態や教育的ニーズ等を踏まえることが重要であること。
- (3) 県が行う指導、助言又は援助の内容は、市町村教育委員会等の主体性を損なわないように留意することが重要であること。
- (4) 「『質の高い教科書の実現と教科書採択の公正性・透明性を高めるために【ガイドライン】』の周知徹底について（通知）」（平成28年10月21日付け教義指第68

2号)を踏まえ、教科用図書採択の公正性・透明性を高めるようにすることが重要であること。

2 留意事項

- (1) 様々な働き掛けにより公正かつ適正な採択に支障を来たすことがないよう、静ひつな環境の確保に努めることが重要であること。
- (2) 教科用図書採択への疑念を生じさせないよう、会議の公開・議事録の公表を行い、透明性の確保に努めることが重要であること。
- (3) 調査研究において、より広い視野からの意見を反映させるために、保護者等の意見を踏まえることに努めること。

3 資料の作成

採択の対象となる全ての教科用図書について、調査研究を行い、市町村教育委員会等の一般的な指針となるよう配慮しながら作成すること。

県立義務教育諸学校において使用する教科用図書採択の基本的考え方

埼玉県立義務教育諸学校において使用する教科用図書の公正かつ適正な採択の確保を図るため、県立義務教育諸学校の教科用図書の採択に当たっては、以下の考え方に基づいて行う。

1 基本的な態度

- (1) 教育基本法、学校教育法、小学校・中学校・特別支援学校学習指導要領、埼玉県5か年計画、埼玉教育の振興に関する大綱の内容を踏まえ、教科用図書を採択する。
- (2) 教科の主たる教材として、児童生徒にとって教育上効果的なものとなるよう、学校の特色や児童生徒の実態を踏まえた教科用図書を採択する。その際、以下の2に示す「調査研究の観点」及び3の「留意事項」を踏まえ、教科用図書の十分な調査研究を行う。
- (3) 県立特別支援学校の教科用図書については、児童生徒の障害の状態や教育的ニーズ等を考慮して採択する。

2 調査研究の観点

- (1) 組織・配列・分量について
学習指導を進める上で、内容の組織・配列・分量が効果的であること。

- (2) 内容について
 - ア 各教科
 - (ア) 知識及び技能が習得されるようにするための効果的な工夫がなされていること。
 - (イ) 思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫がなされていること。
 - (ウ) 学びに向かう力、人間性等をかん養するための効果的な工夫がなされていること。
 - イ 特別の教科 道徳
 - (ア) 現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫がなされていること。
 - (イ) 発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫がなされていること。
 - (ウ) 「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫がなされていること。
- (3) 学習指導要領の教科の目標を達成するための工夫について
学習指導要領の教科の目標を達成するための効果的な工夫がなされていること。
- (4) 資料について
写真・挿絵・図表・数表・地図・索引等が必要に応じて用意され、児童生徒に理解しやすいものであること。
- (5) 表記・表現について
 - ア 記号・用語・単位等が、児童生徒に理解しやすいものであること。
 - イ 表現が明確で、児童生徒に理解しやすいものであること。

3 留意事項

- (1) 学校の教育目標の達成に向け、適切であること。
- (2) 学校の特色・児童生徒の実態及び保護者等の意見を踏まえたものであること。
- (3) 児童生徒の生活、経験及び興味・関心等に対する配慮がなされていること。



令和6年5月29日

埼玉県教育委員会 様

埼玉県教科用図書選定審議会
会長 柿沼 光夫



教科用図書採択に関する答申（第2次）

令和6年4月17日付け教義指第39号で諮問のありました事項について、下記のとおり答申いたします。

【諮問事項】

- 1 県教育委員会が市町村教育委員会等の教科用図書の採択について行う指導、助言又は援助の基本的考え方について

記

- 1 県教育委員会が市町村教育委員会等の教科用図書の採択について行う指導、助言又は援助の基本的考え方について

県教育委員会が市町村教育委員会等の教科用図書の採択について行う指導、助言又は援助の基本的考え方のうち「参考資料」については、別添「調査資料」を参考に、採択の対象となる教科用図書の特徴を示したものになるようにするとともに、公正中立を欠くことがないように留意すること。

(別添)

令和7年度使用中学校用教科用図書 調査の観点及び調査資料

埼玉県教科用図書選定審議会

教科書発行者一覧

発行者の 番号・略称	発行者
2 東 書	東京書籍株式会社
4 大日本	大日本図書株式会社
6 教 図	教育図書株式会社
9 開隆堂	開隆堂出版株式会社
11 学 図	学校図書株式会社
15 三省堂	株式会社三省堂
17 教 出	教育出版株式会社
27 教 芸	株式会社教育芸術社
38 光 村	光村図書出版株式会社
46 帝 国	株式会社帝国書院
50 大修館	株式会社大修館書店
61 啓林館	株式会社新興出版社啓林館
81 山 川	株式会社山川出版社
104 教 研	数研出版株式会社
116 日 文	日本文教出版株式会社
224 学 研	株式会社 Gakken
225 自由社	株式会社自由社
227 育鵬社	株式会社育鵬社
229 学び舎	株式会社学び舎
232 あか図	あかつき教育図書株式会社
233 日 科	日本教科書株式会社
236 令 書	令和書籍株式会社

資料に記載している「QRコード」は、(株)デンソーウェブの登録商標です。

国語科（国語）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="font-size: 2em; letter-spacing: 1em;">○○○○ ○○○○</div>	発行者番号 発行者名
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○社会生活に必要な国語の特質（言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化）を理解し適切に使うことができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○言語活動を通して、言語能力を育成するためにどのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重する能力の向上を図る態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜言語感覚を豊かにするための工夫＞</p> <p>○生徒の言語感覚（言葉に対する正誤・適否・美醜などの感覚）を豊かにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫＞</p> <p>○自ら進んで読書をし、読書を通して自分の考えを広げたり深めたりするために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・ 表現	<p>○漢字・用語・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の言語能力の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

書名 項目	<h1>新編 新しい国語</h1>	2 東 書
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○情報の整理や関係について学ぶ「情報と論理の学び」が設定されている。学んだことを活用する教材が前後に配置され、情報を活用する力を身に付ける工夫がされている。 ○古典に親しませるために、作品を解説する折り込み資料や朗読動画、コラム「資料」が掲載されている。巻末資料で古典作品や関係する文章が取り上げられている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話すこと・聞くこと」について各学年三つの教材で構成されている。「学習の流れ」によって学習の見通しがもてるように工夫されている。また、言語活動に取り組みやすくするために各項目で活動例を示すなど言語活動の充実が図られている。 ○「読むこと」の教材文から学んだ表現や構成等を生かして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。書く活動では、テーマに対して学習者同士がそれぞれの立場で交流しやすいよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習内容の関連性をもたせるよう、教材ごとの「てびき」に「言葉の力」が掲載されている。巻末に一覧表を設け、「言葉の力」を系統的に学べるように示されている。 ○「未来への扉」「学びを支える言葉の力」では、未来を考えるテーマや日常生活での言葉の使い方や話の聞き方・伝え方、情報の扱い方がイラスト等でまとめられている。 </p> <p> <言語感覚を豊かにするための工夫> ○我が国の言語文化について扱う「日本語探検」「文法の窓」「漢字道場」や、巻末の「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。 </p> <p> <読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○「読むこと」の教材ごとに「読書案内」が配置されている。「読書への招待」、資料編では学習した教材と読み比べられる本や中学生へのお勧めの本が紹介されている。 ○1年で図書館の活用やポップ作り、2年でビブリオバトル、3年で読書会や私のベストブック紹介などに取り組み、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。 </p>	
資 料	<p> ○巻頭で領域別に色分けをして、教材や身に付けたい言葉の力を掲載し、「未来への扉」では、3領域の学習と関連させた未来を考えるための九つのテーマを示されている。 ○巻末に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「資料編」と「言葉の力」の一覧が掲載されている。 ○各教材にあるQRコードから、授業中の言語活動や家庭での予習・復習での活用を想定したデジタルコンテンツを閲覧、利用することができるよう工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○長文の行数が「5、10、15」と「・」で表記されている。新出漢字は脚注に1字で示され、掲載された行数と漢字の読み方が示されている。 </p>	
総 括	<p> ○1年では小学校での既習事項の復習となる内容や、3年を中心に、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">現代の国語</h1>	15 三省堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○情報の扱い方について、自分の考えを深める「情報を関係づける」という単元が設定されている。複数の資料を用い情報を関連付けて考える力を養う工夫がされている。 ○古典に親しませるために、写真、図版を用いた資料や朗読音声、コラムが掲載されている。巻末資料で古典芸能や古典作品が取り上げられている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話すこと・聞くこと」について各学年三つの教材で構成されている。「話し合いのこつ」によって、グループでの話し合いが進みやすくなるような工夫がされている。また、「書くこと」と「話すこと」が関連しており、言語活動の充実が図られている。 ○「読むこと」の教材文に関連した内容を「書くこと」の内容に反映させるなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。書く活動では、学習者が自身の体験を振り返りながら、思考を深められるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習の見通しがもてるよう教材ごとに「学びの道しるべ」を設けられている。巻末の「読み方を学ぼう」により、学んだことの振り返りができるよう工夫されている。 ○各学年の巻末資料に、対義語や慣用句などテーマを設けた語彙の資料や、手紙の書き方・話し合いの仕方といった日常生活で必要な内容が一覧で掲載されている。 </p> <p> <言語感覚を豊かにするための工夫> ○我が国の言語文化について扱う「言葉発見」「文法の窓」「漢字のしくみ」や、巻末の「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。 </p> <p> <読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○「読むこと」の教材ごとに「私の本棚」が配置されている。資料編「読書の広場」が設けられ、小説や説明文、古文などが紹介されている。 ○1年で私が選ぶ一文の紹介、2年でビブリオバトル、3年でブックトークに取り組み、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。 </p>	
資 料	<p> ○巻頭で領域別の教材や言葉の力を身に付けるための学習の進め方が示されており、「思考の方法」では、思考の方法を手助けするチャートと使い方が例示されている。 ○巻末に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「資料編」が掲載され、「読み方を学ぼう」で、文章読解の方法が示されている。 ○各教材にあるQRコードから、学習の参考となる資料や動画での解説を閲覧したり、漢字と文法のデジタルドリルを利用したりすることができるよう工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○文章の行数が「5、10、15」で表記されている。新出漢字は脚注に1語単位で掲載行数とともに示されている。 </p>	
総 括	<p> ○1年では小学校での既習事項の復習となる内容が扱われている。全体として、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。 </p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">伝え合う言葉</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○写真や広告等を扱う「情報・メディアと表現」を設け、文字と文字以外の表現を合わせて読解することで、情報の扱い方や活用する力を身に付ける工夫がされている。 ○古典に親しませるために、絵巻、写真等の資料が掲載されている。巻末資料で、その学年で学んだ教材の他の場面や様々な古典作品、伝統芸能が取り上げられている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話すこと・聞くこと」では、1・2年は四つ、3年は五つの教材で構成されている。「学習活動の流れ」の中でポイントを示すことによって、学習が深まるように工夫されている。また、言語活動の充実を図るため、思考ツールが掲載されている。 ○「読むこと」の教材文で学んだ知識や技能を基に書く活動を行うなど「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。また、書く活動では、課題の内容や書き方の例が示され、学習者が取り組みやすくなるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭の「言葉の地図」に学習の流れと身に付けさせたい言葉の力が掲載されている。各教材の「学びナビ」「みちしるべ」で学習の関連性が図られている。 ○巻末資料では現代文学・古典文学の読書教材の他、「話すこと」「書くこと」のテーマや、日常生活で文章を書くときの注意点や表現に役立つ言葉がまとめられている。 </p> <p> <言語感覚を豊かにするための工夫> ○我が国の言語文化について扱う「言葉の小窓」「文法の小窓」「漢字の広場」や、巻末の「言葉の自習室」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。 </p> <p> <読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○单元ごとに「広がる本の世界」が配置されている。「読書への招待」という教材を設定し、読書活動につながる本が紹介されている。 ○1年で本の帯やポップ作り、2年で図書館の活用、3年でビブリオバトルなどに取り組み、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。 </p>	
資 料	<p> ○巻頭の「言葉の地図」において、この教科書での学び方を紹介し、1年間で学ぶ内容と身に付けたい言葉の力がSDGsと関連付けて示されている。 ○巻末に、言葉と文法の学習内容をまとめた「解説編」と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「言葉の自習室」が掲載されている。 ○各教材にある「まなびリンク」（QRコード）から、教材の補足資料や情報活用能力の育成を手助けするコンテンツを閲覧、利用することができるよう工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p>○文章の行数が「5、10、15」と「・」で表記されている。新出漢字は脚注に掲載箇所に対応して1字で掲載されている。</p>	
総 括	<p>○1年では小学校での既習事項の復習となる内容が扱われている。全体として、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。</p>	

国語科（国語）調査資料 1－4

書名 項目	<h1 style="font-size: 2em;">国語</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光 村</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」で、文章における情報の扱い方が示されている。情報活用能力を養うよう「情報×SDGs」という教材が設定されている。 ○古典に親しませるために、作品の全体像を解説するコラムや絵巻・地図、朗読音声に掲載されている。巻末資料で古典芸能や古典作品が取り上げられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」について1年は七つ、2・3年は六つの教材で構成されている。また、言語活動の充実を図るために、3年間を通して系統的に学べるように課題が設定されている。 ○「読むこと」の教材文で学んだ知識や技能を生かして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。また、書く活動では、学習者が実践した内容を交流したり、自己評価したりしやすいよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材ごとに「学びへの扉」を設け、学習の見通しをもたせている。また、巻末に「『学びのカギ』一覧」を設け、基本的な観点を示し、振り返りができるようになっている。 ○巻末の資料「豊かに表現するために」では、日常生活に生きるテーマを設け、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で1年間で学習した言語活動が掲載されている。 <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の言語文化について扱う「言葉」「文法への扉」「漢字」や、巻末の「語彙ブック」「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」の教材ごとに「広がる読書」が配置されている。読書単元が二つ設定され、テーマ別の本の紹介、読み比べにつなげられるように構成されている。 ○1年でポップ作りや読書会や読書記録、2年でブックトークやポスター作り、3年でブックレビューなどに取り組み、社会生活とつながる読書活動が示されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭で領域別に色分けをして、教材と身に付けたい言葉の力を他教科・SDGsと関連付けて示され、「思考の地図」では、場面や目的に応じた思考法が紹介されている。 ○巻末に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる資料や文章を読んだり豊かに表現したりするための「学びのカギ」一覧が掲載されている。 ○教科書の該当ページに示されているQRコードから、学習の参考となる資料を閲覧したり、解答を書き込めるコンテンツを利用したりできるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○長文の行数が「5、10、15」と「・」で表記されている。新出漢字は脚注に1字で載せ、掲載された行数と漢字の読み方が用例とともに示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○1年では小学校での既習事項の復習となる内容が扱われている。3年を中心に、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。 	

国語科（国語） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	306	366	357	344
	2年	310	366	373	344
	3年	322	366	357	340
2 巻末資料、付録等の総ページ数 ※ ページ番号のない部分も含む	1年	68	136	73	89
	2年	72	124	73	83
	3年	98	136	67	99
3 単元数	1年	8	9	9	8
	2年	8	9	9	8
	3年	8	8	8	8

○領域別教材数等について ※（ ）内は、資料編等の中の教材及び資料数

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村	
1 教材数 ※扉の部分の詩も教材数に含む	1年	55(17)	52(29)	65(22)	78(18)	
	2年	54(13)	53(27)	61(24)	72(18)	
	3年	49(15)	45(27)	61(25)	72(20)	
2 領域別教材数	① 言葉の特徴や使い方に関する事項	1年	18(2)	20(9)	18(13)	21(6)
		2年	17(2)	18(8)	16(14)	20(5)
		3年	14(4)	16(8)	16(15)	18(7)
	② 情報の取り扱いに関する事項	1年	5(3)	1(0)	2(1)	5(2)
		2年	5(3)	1(0)	2(2)	5(4)
		3年	4(2)	1(0)	2(1)	4(3)
	③ 我が国の言語文化に関する事項	1年	10(6)	8(7)	16(3)	12(2)
		2年	8(1)	9(7)	16(2)	13(2)
		3年	9(2)	6(7)	15(4)	16(2)
	④ 話すこと・聞くこと	1年	3(0)	3(2)	4(1)	7(1)
		2年	3(0)	3(2)	4(1)	6(2)
		3年	3(0)	3(2)	5(1)	6(2)
	⑤ 書くこと	1年	5(3)	6(5)	5(1)	13(3)
		2年	5(2)	6(5)	6(1)	10(1)
		3年	4(2)	4(5)	4(1)	7(0)
	⑥ 読むこと	1年	14(3)	14(6)	20(3)	20(4)
		2年	16(5)	16(5)	17(4)	18(4)
		3年	15(5)	15(5)	19(3)	21(6)

○文種別教材数について ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村
1 説明的文章 ※新聞記事等を含む	1年	8(1)	6(3)	7(0)	7(1)
	2年	8(3)	8(2)	8(0)	7(0)
	3年	10(3)	7(2)	10(0)	8(0)
2 物語・小説・随筆 ※古典は除く	1年	6(2)	6(2)	6(2)	7(1)
	2年	6(2)	4(2)	5(2)	8(2)
	3年	9(2)	5(2)	8(3)	10(3)
3 詩・短歌・俳句 ※巻頭詩等を含む	1年	12(0)	3(0)	7(1)	12(0)
	2年	13(0)	4(0)	8(2)	8(0)
	3年	14(0)	4(0)	10(1)	10(0)
4 古典 ※漢文・和歌・川柳等を含む	1年	4(4)	2(4)	5(2)	3(2)
	2年	6(0)	6(3)	4(2)	7(2)
	3年	6(0)	5(5)	6(1)	6(2)

○その他 ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村
学校図書館等の活用に関する教材数 (読書案内・読書活動を含む)	1年	8(1)	3(2)	9(0)	6(0)
	2年	8(1)	3(2)	9(0)	6(0)
	3年	8(1)	3(2)	8(0)	6(0)
QRコードの数	1年	66	94	50	93
	2年	66	95	52	84
	3年	59	85	48	70

国語科（書写）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; height: 40px;"> ○○○○ ○○○○ </div>	発行者番号 発行者名
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○目的や必要に応じて、文字を選んで効果的に書かせる学習について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○生徒が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜毛筆と硬筆との関連＞</p> <p>○毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜各教科や日常生活との関わり＞</p> <p>○書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料の内容には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料の配置や手本との関連には、どのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○用語・記号などの使い方に、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材の内容や解説・説明の仕方について、生徒の言語能力の発達の段階に応じて、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	<p>（全体的な特徴、その他）</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい書写</h1>	2 東 書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○六つの過程が設けられ、単元が展開されている。「目標」が示され、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。 ○毛筆では、穂先の動き等の基本点画の筆使いを朱墨と淡墨を用いて示されている。「書写のかぎ」という注意点を踏まえて、毛筆で課題に取り組むよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見つけよう」で書体を比較し説明させたり、指でなぞって考えさせたりすることで、学習のポイントを意識できるよう構成されている。 ○「生活に広げよう」で、効果的な文字の選択や場面・相手の設定等、単元ごとの学習内容を生かして表現活動に取り組むことができるよう題材が設定されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が見通しを立てて主体的に学べるよう、基本単元は「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」で構成されており、ポイントが「書写のかぎ」で示されている。 ○「振り返ろう」で、学習目標と連動した自己評価について、自分の言葉で説明し、話し合い活動を通して自らの学びを深められるよう工夫されている。 <p>＜毛筆と硬筆との関連＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本点画を学ぶ際、「見つけよう」という項目で硬筆から課題を意識させ、「確かめよう」という項目で毛筆の点画の書き方を確かめる流れになっている。 ○「生かそう」という硬筆教材を設定し、毛筆で学んだ文字の配列や点画の連続・変化等を、硬筆で生かせるように毛筆と硬筆の関連が図られている。 <p>＜各教科や日常生活との関わり＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年、「生活に広げよう」という項目が設けられており、依頼状・お礼状の書き方等、生活の様々な場面を通して、日常生活との関わりが示されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「姿勢と筆記具の持ち方」について写真を使って解説されている。また、「常用漢字表」「人名用漢字表」は楷書体と行書体が併記されている。 ○巻末の「書写活用ブック」で様々な書式や漢字表が取り上げられている。また、随所に写真図版と解説を交えたコラム「文字といっしょに」が設けられている。 ○QRコードを読み取ることで提供されるデジタルコンテンツがある。姿勢と筆記具の持ち方・書写テスト・運筆動画等が見られるようになっている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○見開きの右ページに学習目標と学習の流れ、左ページに教材文字が配されている。中心事項について色を変えて記され、指でなぞって書く練習が加えられている。「始筆・送筆・終筆」が「とん・すう・ぴたっ」と示されており、運筆指導に対応している。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○書写での学びを生活に生かすことができるよう題材が設定されている。 ○書写の知識や技能を身に付けられるよう、行書に特徴的な動きをパターン化し、「行書のまとめ」や「書写テスト」で繰り返し確かめ、定着を図るよう構成されている。 	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">現代の書写</h1>	15 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">三省堂</div>
内 容	<p> ＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ ○七つの過程が設けられ、単元が展開されている。具体的な字形例を基に、書き方のポイントが示されている。 ○毛筆の筆使いに、筆圧・穂先の動きを朱墨・淡墨で示されている。行書の横に楷書の手本が並べて示され、学びの定着を図ることができるような工夫がされている。 </p> <p> ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○「見つけよう」の問いによって、書体を比較しながら学習のポイントを見つける等、単元の課題を意識できるよう構成されている。 ○「やってみよう」で、場面に応じた効果的な文字の選択等、学習内容を生かして表現活動に取り組むことができるよう構成されている。 </p> <p> ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○生徒が主体的にポイントを捉え、見通しを立てて学習に臨めるよう基本単元が「書き方を学ぼう」「書いて身につけよう」で構成されている。 ○「振り返ろう」で、学習目標と連動した課題により、学んだことが実際に活用できるか書いて確認し、自らの言葉で記述できるよう工夫されている。 </p> <p> ＜毛筆と硬筆との関連＞ ○点画の種類と筆使いを毛筆で学んだ後で、「書いて身につけよう」という硬筆教材が設定され、毛筆と硬筆の関連を図られている。 ○毛筆で学んだことを硬筆に生かそうということで、古典や身の回りの様々な書式を硬筆で書く学習が取り入れられている。 </p> <p> ＜各教科や日常生活との関わり＞ ○各学年、「やってみよう」という項目が設けられており、情報誌や名言集等を作る取組を通して、日常生活との関わりが示されている。 </p>	
資 料	<p> ○「姿勢と構え方」で姿勢や用具の持ち方等について写真を使って解説されている。また、「楷書・行書一覧表」では楷書体と行書体が併記されている。 ○巻末の「資料編」は「日常の書式」と「書写の広場」に分かれ、書き初め手本等が取り上げられている。また、随所に写真図版と解説を交えたコラムが記載されている。 ○QRコードを読み取ることで提供されるデジタルコンテンツがある。硬筆・毛筆の姿勢・運筆・コラム関連動画等が見られるようになっている。 </p>	
表記・表現	<p> ○見開きの右ページに学習目標と学習の流れ、左ページに教材文字が配されている。学習の中心事項が文章で記されており、学習課題に結びつくような工夫がされている。運筆指導に対応し「穂先」の説明では、筆の動きが見て分かるように示されている。 </p>	
総 括	<p> ○各教材が見開きで構成され、書き方のポイントや学習内容が一覧で示されている。 ○「書いて身につけよう」では、学習したことを多様な場面で主体的に活用できる力を身に付けることができるよう構成されている。 </p>	

書名 項目	<h1>中学書写</h1>	17 教 出
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○八つの過程が設けられ、基礎・基本の定着を目指して単元が展開されている。「目標」が示され、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。 ○毛筆では、基本的な点画や穂先の動きを2色の薄墨で示されている。硬筆で「試し書き」をして「まとめ書きと応用」で熟語も一緒に学べるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「考えよう」の問いで書体や文字同士を比較したりその差異を考えたりしながら、学習のポイントを意識できるよう構成されている。 ○「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」で、各教科の書く活動と連動させ、学習内容を生かして表現活動に取り組むことができるよう構成されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○基本単元は「考えよう」「生かそう」で構成され、学習手順を明確化させることで、生徒自身がどのように学ぶか見通しが立てられるようになっている。 ○「振り返ろう」で、学習目標と連動した自己評価を「○=できた」「△=もう少し」の記号を書き込み、自らの学びを確認できるよう工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連> ○「試し書き」という項目で硬筆、「考えよう」という項目で毛筆の課題を発見・確認し、それを生かして硬筆の書き方を改めて学習する流れになっている。 ○基本点画を学習する単元の終末に、これまで毛筆で学習したことを硬筆で生かして書く学習を取り入れている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり> ○「学校生活に生かして書く」等の項目で、本の帯やポスターの書き方等の学習を紹介し、日常生活との関わりが示されている。</p>	
資 料	<p>○「姿勢と用具の使い方」について写真を使って解説されている。また、「漢字一覧表」は常用漢字を小・中学校ごとの部首別に楷書体と行書体が併記されている。 ○巻末で日常の書式を紹介した「書式の教室」や、「書き初め」手本等が取り上げられている。また、随所に写真図版と解説を交えたコラムが設けられている。 ○QRコードを読み取ることで提供されるデジタルコンテンツがある。用具の準備や運筆等学習に役立つ動画が見られるようになっている。</p>	
表記・表現	<p>○見開きの片方のページに学習目標と教材文字、もう一方に学習の流れが配されている。学習の中心事項について書き込み欄が設けられ、学習課題に結びつくよう工夫されている。筆圧が「1の力、2の力、3の力」と示され、運筆指導に対応している。</p>	
総 括	<p>○半紙形を維持した紙面で教材文字に中心点を入れている。 ○各教材で、授業のはじめに「試し書き」で自分の課題に気付き、授業の終わりに「まとめ書き」で振り返り、「書く力」を身に付けるよう構成されている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学書写</h1>	38 光 村
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○六つの過程が設けられ、知識や技能の定着を目指しての単元が展開されている。「目標」が示され、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。 ○「書写ブック」を用いて硬筆課題に取り組み、毛筆での学習の定着につなげている。毛筆では、筆使いや穂先の動きが濃淡のある朱墨と薄墨で示されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「考えよう」の活動を通して、文字を観察・比較することで、自ら学習のポイントを発見、意識できるよう構成されている。 ○「生かそう」で、場面や目的に応じた効果的な文字の選択について、演習を交えながら実生活に生かせるよう構成されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○基本単元は「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で構成され、ポイントが「学びのカギ」で示され、生徒が見通しを立てて主体的に学習に取り組めるようになっている。 ○「振り返ろう」を学習目標の下に配置し、自己評価の内容を意識して振り返ることで、自らの変容を確かめられるよう工夫されている。 </p> <p> <毛筆と硬筆との関連> ○基本点画を毛筆で学習した後で、学習したことを生かして硬筆で書く「生かそう」という教材が取り入れられている。 ○毛筆の基本点画を学んだ後で、学習したことを日常に生かして硬筆で書く「書写ブック」という教材が設けられ、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。 </p> <p> <各教科や日常生活との関わり> ○「日常に役立つ書式」や「国語・学校生活」の項目で、冊子の書き方や職業ガイド新聞等の活用例が示され、日常生活との関わりが示されている。 </p>	
資 料	<p> ○「姿勢・筆記具の持ち方」について写真を使って解説されている。また、「常用漢字表」「人名用漢字表」は楷書体と行書体が併記されている。 ○巻末で「日常に役立つ書式」「書き初め手本」等が取り上げられている。また、随所にコラムが設けられ、写真図版と解説を交えて掲載されている。 ○QRコードを読み取ることで、用具の準備や運筆等学習に役立つ動画が見られるようになっている。 </p>	
表記・表現	<p> ○見開きで学習目標と学習の流れ、次ページに教材文字が配されている。学習の中心事項が文章で記され、学習課題に結びつくよう工夫されている。「始筆・送筆・終筆」が「ト ン・スー・トン」や「ぴょん、ぴたっ」で示され、運筆指導に対応している。 </p>	
総 括	<p> ○「書き初めマスターブック」で、書き初めの由来やポイントが掲載されている。 ○「書写ブック」で、毛筆での学習を硬筆に生かし、定着できるよう工夫されている。国語教科書と連動した教材が全学年で掲載されている。 </p>	

国語科（書写） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村
1 総ページ数 ※目録に記載されたページ数	1年	145	120	146	165
	2年				
	3年				
2 単元数	1年	3	3	3	2
	2年	2	3	3	2
	3年	1	1	2	2
3 QRコードの数	1年	13	17	15	19
	2年	9	10	12	12
	3年	4	3	6	9

○指導事項等の教材数について

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村	
1 総教材数 ※本編中における主たる手本の数	1年	12	11	11	9	
	2年	10	9	6	8	
	3年	5	3	3	6	
2 手本の種別数 毛筆	漢字の楷書及び調和した仮名	1年	5	4	5	5
		2年	1	2	0	2
		3年	0	1	0	2
	漢字の行書及び調和した仮名	1年	4	4	4	4
		2年	8	6	6	6
		3年	5	2	3	4
硬筆	1年	3	3	2	0	
	2年	1	1	0	0	
	3年	0	0	0	0	
3 教材の扱い種別数	硬筆と毛筆との関連を図った教材数	1年	4	5	6	3
		2年	4	2	4	3
		3年	0	1	1	0
	目的や必要に応じて楷書または行書を選んで書く教材数	1年	0	0	0	0
		2年	2	2	1	1
		3年	2	2	1	1
	社会生活に役立つ学習のための教材数	1年	3	1	2	1
		2年	2	2	3	3
		3年	3	2	2	5